



農大



雌牛舎にて 農大牛と共に校長を囲み農大応援団と記念撮影！

「長崎全共で 貴重な経験」

校長 安養寺 寿一

十月二十五日から二十九日まで長崎県で和牛の日本一を決める第十回全国和牛能力共進会が開催され、鳥取県代表として本校から第四区（系統雌牛群）に二頭出品しました。この共進会は、五年に一度開催されることから「和牛のオリンピック」と呼ばれ、和牛改良を導いてきた大会です。

担当学生は、畜産コース二年生の衣笠実君と鈴木伊織君です。兩名とも本年二月から出品牛の飼養管理に細心の注意を払うほか追い運動など懸命に世話をしてきました。審査本番では、全国の和牛関係者が注目する中、堂々と引き手役を務めました。

この経験を活かし、本県和牛振興を担う人材として成長されるよう期待しています。

特集1

第10回 全国和牛能力共進会 長崎大会



到着後直ちに牛舎整備!



全共でもいじられキャラ!



ガッツ注入!



緊張の入場!



4頭並列!



根性の静姿勢!
(上:鈴木君、下:衣笠君)



場内行進!



鳥取農大の牛が 県代表で参加!

優等賞6席獲得!



放心の退場!



審査終了!デコボココンビ、小谷議員と共に!

<長崎全共漫遊記>
ほんっとに大変な一週間でした!

本校では、農産物の生産から販売までの一貫した教育を目指しています。販売実習は年間5回開催する農大市や県内各地の店舗・イベントで行っています。特に9月は県内東中西部の計3カ所で実習を行いました。9月1・2日中部発食のみやこフェスティバル（倉吉市）、9月12日イオンショッピングセンター（日吉津村）、9月23日には地場産プラザわったいな（鳥取市）で販売実習を行いました。

販売実習は午前9時頃から始まり、農大で学生が生産し、調整・包装、値段付けをした農産物を学生自らお客様に声をかけて販売します。農大市とは異なり多くの消費者の方が来場、来店されますが、容易には農大産の商品を購入していただけません。しかし、学生は大きな声で呼びかけたり、お客様へ説明したり商品に対する感想等を伺っていました。量販店の実習に参加した学生は「価格を他の商品と比べることができ、お客様と直接会話もできて良かった」と感想を述べていました。

今年度後半にも、修農祭、農大市、量販店で販売実習を計画しています。実習計画はHP等で公開しますので、保護者・OB・関係者の皆様には是非会場にでかけ、学生の学習状況をご覧ください。



果樹コース1年 松本 侑磨

「第2回中部発！食のみやこフェスティバル」で販売実習をしました。主にブドウとナシの販売を担当しました。試食を勧めると「おいしい」と言って、買っていただけただけで試食があっただけ良かったと思いました。ナシの新品種「新甘泉」はよく売れました。困ったことは、「一番おいしいのはどれ？」と質問されたことです。品種ごとの特徴を説明すると、お客さんが選ばれたので「良かった」と思いました。今回は農大市と違い、他の店がたくさんあり、呼び込みが大変でした。商品説明もうまくできず販売の難しさを改めて知りました。今回の反省を次の販売実習につなげていけるように頑張りたいと思います。



野菜コース2年 橘高 叶

9月23日に賀露にある「地場産プラザわったいな」で販売実習をしました。売り場が狭い上、遅れて到着した商品もあり、商品の陳列に思ったより手間取りました。試食を出したメロンはよく売れました。他の農家さんのものより太かった白ネギや、他では売られていなかったゴボウもよく売れました。一方で、ジャガイモ、サツマイモはあまり売れませんでした。大きすぎて、調理し辛いと思われたのではないかと思います。

今回の販売実習は、周りにも同じような商品がある中で農大産であることをPRしながら売らなければならなかったので大変でした。ポップの作り方など工夫が必要な点もありましたが、割と売れたので良かったです。



平成24年度

農家等留学研修

7月下旬から9月にかけて2年生を農家等に26日間研修派遣しました。今年度は、9名が県外、15名が県内研修で県内研修者の割合が増えました。法人等への就職就農を意識した研修が多かったことが県内研修が増えた要因になっています。

学生たちは県内、県外を問わず、他人である実践農家で長期間お世話になることで何か自信を得て一回り大きくなって帰ってきました。このことは、今も昔も研修の効果として重要なことであると思います。それぞれの研修成果は、10月10日に開催した報告会で各学生が発表しました。

また、県外の研修先には、長年続けてお世話になっているところもあり、代々の研修生が充実した研修を行い、研修農家から評価を得ているお陰だと感謝しています。

果樹コース

やまね ひろふみ
山根 裕史

いい雰囲気の中で
作業できました

8月27日から9月30日まで、広島県三次市の平田観光農園と長野県中野市にある果実企画で研修をしました。

平田観光農園は、様々な果樹の品種のほか、農業や自然と触れ合える施設もあり、研修期間中ではすべて把握できない程広い農園でした。作業の量は多くて大変でしたが、皆さんが力を合わせて頑張っておられ、仕事の雰囲気もとてもよかったです。

果実企画では、主にブドウの加工をさせていただきました。作業のほとんどは人の手によって行われており、とても大変でした。

研修中は、決して楽しいことばかりではありませんでしたが、これからの農業経営や、六次産業化への取り組みについて多くのことが学べた貴重な時間となりました。



河岡さんのような
大規模経営を目指します

野菜コース

野菜コース

くの ひろし
久野 紘史



私は野菜コースで学んでいますが、将来、養豚関係の仕事に就きたいと思っています。そこで、農家留学研修は日野郡佐木谷にある養豚会社の(株)セントラルファーム鳥取農場に行きました。研修では、養豚の基礎について多くのことを学びました。会社の先輩方が作業を親切に教えてくださり、たくさんのを覚えることができました。

私は、今回の研修先に就職が決まりました。会社の一員として『養豚のプロ』を目指して頑張りたいです。

『養豚のプロ』を
目指して頑張ります！！



ますもと かずや
増本 和也

私は、境港市で白ネギ栽培をしている農大卒業生の河岡さんの農園に研修に行きました。初めは不安もありましたが、ご家族とパートの方に親身にして頂き、楽しく充実した研修を過ごすことができました。河岡さんから白ネギの栽培技術や農業に対する信条を聞かせて頂き、とても勉強になりました。

私は、農大卒業後、白ネギ農家として就農します。将来の目標は、河岡さんのように大規模経営で楽しく農業をすることです。研修を通して経験したことを今後活かしていきます。

花きコース

おんだ ともき
音田 智希

私は、愛知県豊川市のスプレーギク農家、林泉さんの元で、28日間研修を行いました。研修当初は、圃場の大きさや慣れない作業で戸惑いましたが、皆さんがとても温かく接して下さったおかげで、楽しく研修期間を過ごすことができました。

研修中には、林さんの判断力、決断力に感銘を受けるお話を数多く伺いました。その中でも、かつて経営の柱としていたイチゴの労力、収益性に限界を感じ、地域で以前から栽培されていたスプレーギクへと経営の大転換を決断されたという話が強く印象に残りました。自分の経営を冷静に見極め、新たな一歩を踏み出された勇気と行動力に人間として（＝経営者として）の凄みを感じました。

研修期間中の様々な体験は自分を見つめ直す良いきっかけにもなり、大変多くの点で有意義な研修となりました。

経営者の凄みを感じました



畜産コース

すすき いおり
鈴木 伊織



経営することの大変さを身をもって体験しました

私は8月27日から9月21日まで、東伯郡琴浦町赤碓で和牛繁殖経営を営む内山農場に農家留学研修してきました。

作業が農大とは異なり、当初は戸惑いをもち、とても大変でしたが、実際に内山さんと一緒に作業をすることで、“経営することの大変さ、大事さ”について、身をもって体験することができました。

牛の食べるわらの確保する方法や牛の飼育管理方法などについて改めて学ぶことが多かったです。

私は、将来和牛農家を目指しています。この研修で学んだ事をこれからの学校での作業や、いずれ就農したときに生かしていきたいと考えています。

作物コース

もりおか せいき
森岡 成貴

私は農事組合法人良田生産組合に研修で行きました。良田生産組合は、湖山池の南岸地域で、農業が盛んな地域です。良田生産組合では「地域の土地は、自分たちで守る」という信条のもとに1集落1圃場による集落営農をされています。研修では4条刈りコンバインによるパワフルな稲刈り、冬期に備えたストックの播種や大豆の防除などが学べました。

今回の研修で農業に関して得たもの、人付き合いや研修で学んだことを少しずつ、自分の力に変えていきたいと思っています。

研修で学んだことを自分の力に変えていきます



短期研修科果樹専攻

樹の声を聞け（大石）

頑張ります（目黒）



めぐろ りゅうき
目黒 龍樹

9月3日から7日まで、琴浦町にある大石久司さんの農園で研修を受けてきました。梨を主体とした経営で新品種など多品種を栽培されています。大石さんは作業がない日でも毎日果樹園に行かれます。続けていると、木の性格が分かるそうです。心から好きでないとできないことだなと感じました。

大石さんは、梨以外にもリンゴやすももなど、労力の分散を考えて作付けし、独自ルートで販売しておられました。就農した後、新たな品目の導入や、販売方法の改善も考えなければならないと感じました。

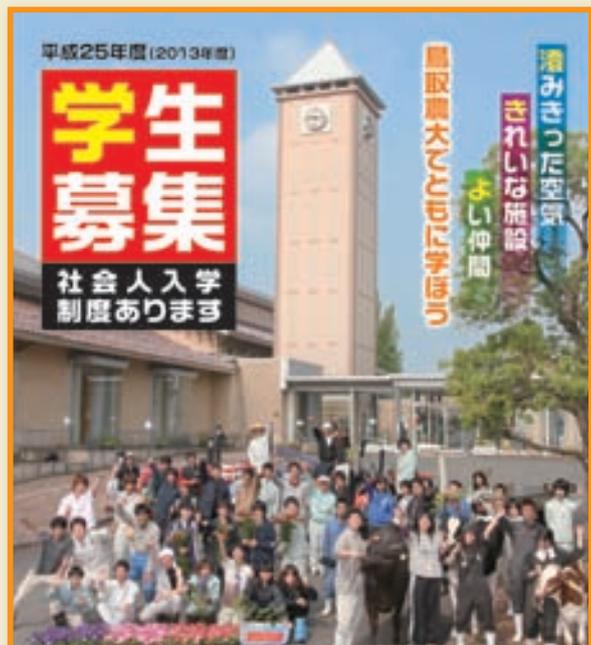
今回の研修で様々な事を学び、就農へ向けてまた一歩進むことができましたと思います。

お知らせ

鳥取県立農業大学校

平成25年度学生募集

豊かな自然に恵まれた県立農業
大学校で最先端の農業を学ぼう



■募集人員

養成課程農業経営学科 30名

(社会人特別入学者5名程度含む)

・出願時に果樹・野菜・花き・作物・畜産のコースを選択

■申込受付期間

一般入学・社会人特別入学

前期：平成24年11月5日(月)～22日(木)

後期：平成25年 1月7日(月)～25日(金)

■試験日

一般入学・社会人特別入学

前期：平成24年12月 9日(日)

後期：平成25年 2月10日(日)

■申込・問合せ先

教育研修部 徳山



研修課程 短期研修科 研修生募集

短期研修科は、1年以内の修業期間(12か月、6か月、3か月)で、社会人等で新たに就農を希望される方を対象に、必要な知識と基本技術について実践的に学び、すぐに就農できる人材を養成する課程です。

コース	開講時期	専攻	募集定員	主な内容
3か月	4月	果樹・野菜 花き・畜産・作物	5名程度 (開講ごと)	農業の基礎的知識の習得と作物ごとの基本的技術を実習主体で学びます。
	7月			
	10月			
6か月	7月	果樹・野菜 花き	5名程度 (開講ごと)	基礎的知識の習得と播種から収穫までの全栽培期間を通した作物ごとの基本的技術を実習と講義で学びます。
	1月			
12か月	4月	果樹・野菜 花き・畜産	6名程度	経営計画演習や就農相談、農家留学研修等をカリキュラムに組み込み、より高度な知識と実践力習得が可能です。
	10月			

(注1) 受講願書の受付期間は、それぞれの開講月の2か月前です。

(注2) 各コースとも、希望する専攻を1つ選んで受講します。

(注3) 作物専攻は、3か月コースの4月、7月開講のみ受講可能、畜産専攻の6か月コースはありません。

(注4) 登校日は、原則として開講期間中毎日(土日、祝祭日等の休日を除く)ですが、週2日の指定研修日以上の日数出席した方に修了証書を授与します。

(注5) 受講資格は就農を希望し、修了後就農が見込まれる方で、受講開始時の年齢が65歳未満の方

- 通学が困難な方は、国際農業交流館への宿泊が可能です。(有料)
- 農業にチャレンジしたい方は、お気軽に研修科までお問い合わせください。

11月23日「修農祭2012」開催！

毎年恒例の修農祭を11月23日(金：勤労感謝の日)に開催します。

当日は、学生が育てた農畜産物やそれらを加工した農大ブランド商品を販売したり、各専攻コースごとに屋台を出したりと地域の皆さんに楽しんでいただけるよう、学生、職員ともどもご来場を心よりお待ちしております。

- 日時** 11月23日(金)
午前10時～午後1時
- 場所** 校舎西側の駐車場及び機械庫の周辺
(当日は案内板を設置します。)
- 駐車場** トラクター練習場
(校舎南側)

みんなきてね～！



生産物の即売風景(果樹専攻コース)

速報! 第30回中国ブロック農大生のつどい

10月11日から12日にかけて広島県安芸高田市にて中国地方の農大生の交歓会があり、ソフトボールと卓球で交流試合が行われました。ソフトボールでは選手全員が力を合わせて奮闘しましたが、惜しくも予選敗退でした。一方、卓球では綿密な作戦と粘り強い試合運びで結果、第2位と大健闘! 充実した交歓会になりました。



卓球大健闘 第2位!